

平成 28 年 5 月 10 日

鹿児島大学病院 皮膚科 で
血管肉腫の診断を受けた患者さんへ
(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院皮膚科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

「血管肉腫における浸潤 γ δ T 細胞と予後との関連の検討」

【研究機関】

鹿児島大学病院 感覚器センター 皮膚科

【研究責任者】

藤井一恭（皮膚科・講師）

【研究の目的】

血管肉腫の早期病変の一部に対しては IL-2 を用いた免疫療法が有効といわれています。IL-2 が作用する細胞として、NK 細胞、CD8 陽性 α β T 細胞のほかに ^{がんまですた} γ δ T 細胞がありますが、これまでに血管肉腫における ^{がんまですた} γ δ T 細胞の役割を検討した報告はありません。この研究の目的は、血管肉腫の患者さんの病変部にみられる ^{がんまですた} γ δ T 細胞と予後との関連を明らかにし、新たな治療法の開発につなげることを目的としています。

【研究の方法】

診療記録（カルテ）から、年齢、性別、病変の範囲と性状、リンパ節・

遠隔転移の有無、治療、検査データ、生存期間、病理組織像に関する情報
を利用し登録します。また、検査や手術の際に採取した組織のうち検査で
使用された残りの部分を用いて、免疫染色法でがん細胞の周りにどのよう
な細胞が認められるか調べます。この研究のために改めて組織を採取する
ことはありません。

●対象になる患者さん

平成 16 年 1 月 1 日から平成 26 年 8 月 31 日までに鹿児島大学病院皮
膚科で血管肉腫の診断を受けた患者さんを対象にしています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

以下の情報を利用します。

年齢、性別、病変の範囲と性状、リンパ節・遠隔転移の有無、治療、検査
データ、生存期間、病理組織像

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接
特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで
発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しま
せん。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学分野の研究費
（使途特定寄付金）で実施します。研究費の一部には、企業等からの寄付
金が含まれますが、本研究に対する資金ではなく、広く学術を支援するた
めのものです。

この研究に対する企業等からの資金提供および労務提供はありませんの
で、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番地1号

鹿児島大学病院 感覚器センター 皮膚科

助教 指宿敦子

電話 099-275-5388 FAX 099-275-1134